

2024 年度 個人研究実績・成果報告書

2025 年 4 月 21 日

所属	政策情報学部	職名	准教授	氏名	吉羽一之
研究課題	啓発ツール制作における機能性と美観性についての考察				
研究キーワード	グラフィックデザイン、 タイポグラフィ、 ユニバーサルデザイン	当年度計画に対する 達成度	3.概ね順調に研究が進展し、一定の成果を達成したが、一部に遅れ等が発生した		
関連するSDGs項目	11. 住み続けられるまちづくりを	該当なし	該当なし	該当なし	

1. 研究成果の概要

2024 年度は『鎌ヶ谷防災かるた』に続いて『防災マッチ』のデザインワークに着手した。『防災マッチ』はかるた形式ではなく、トランプを使った神経衰弱形式をベースとしたもので、一つの事象について、三つの対応策カードを揃え、その内容を学習することを目的としている。提供された原稿を元にプロトタイプを作成し、テストプレイを実施したところ、勝ち負けを優先してしまい、課題と対応を学習させるという点が不十分であることが明らかとなった。そこで、掲載文言の調整、キーワードのレイアウトポジション、イラスト化するシーンや構図を再検討し、再度、プロトタイプを作成した。第一段階のプロトタイプよりは学習という点は向上したものの、プレイヤー同士のコミュニケーションが少なく、お互いの知識や経験を語る場が形成されるという点が欠けていた。そこで、神経衰弱形式の他に、かるた形式でも遊べるよう、さらに文言やレイアウトを調整し、プロトタイプの最終版にて検証を継続している。

それぞれの形式に従った使用感と、掲載情報の伝達性、またそれらを視覚化するための書体選定を始めたとしたデザイン要素の検証に引き続き、取り組んでいきたい。

2. 著書・論文・学会発表等

(できるだけご記入ください。査読の有無及び海外研究機関等の研究者との国際共著論文がある場合は必ず記載)

【論文 (査読あり)】

【著書・論文 (査読なし)】

【学会発表等】

『新翔 春秋会 市川團子』広報物デザイン担当、『サンティアゴ巡礼赤木睦代作品展』広報物デザイン担当。

3. 主な経費

研究及び制作のための PC、比較分析のためのフォントデータ、実践及び検証のためのソフト、及び印刷用資材の購入。その他、学会等の参加費。

4. その他の特筆すべき事項 (表彰、研究資金の受入状況等)

(本文は 2 ページ以内にとめること)